

エコアクション21 環境活動レポート



第4版

(平成29年6月30日発行)

運用期間：平成28年4月～平成29年3月

 快適な暮らしを創造する
OKAMURA 株式会社 オカムラ
TEL:0964-33-0131 FAX:0964-33-0985

I. 環境方針および行動指針

環境方針

株式会社 オカムラは、事業活動を通じ、安心・安全・安定した地域社会実現のため環境に関する行動指針を定め、完遂に向け邁進します。

行動指針

環境方針の実現に向けて以下のことを行動指針と致します。

1. 循環型社会の構築に向け、先進技術の導入等によりリサイクル率を向上させ廃棄物排出量及び総排水量の抑制を行います。
2. 作業の安全に心掛け、火気・臭気・排水に細心の注意を払い環境の汚染を防止します。
3. 環境関連法令等を遵守し、社内及びお客様・地域のみなさまが安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. エコドライブや節電を実践し、二酸化炭素排出量の抑制に取り組みます。
5. 環境に配慮した製品や資機材の購入を推進します。
6. 化学物質を適正に管理します。
7. この環境方針を全社員に配布及び掲示し、環境への意識高揚を図るとともに、職場以外においても、行動指針を順守します。

改訂日：平成 25 年 1 月 5 日

株式会社 オカムラ

代表取締役 **岡村健志**

目次

I. 環境方針および行動指針	3
目次	4
II. 組織概要	6
1. 事業所概要	6
2. 社有地（対象事業所）	7
◆ 本社事務所	7
◆ 社員駐車場①	7
◆ 本社ビル管理係倉庫・車庫	7
◆ リサイクル事務所	7
◆ リサイクルセンター	7
◆ 社員駐車場②	7
◆ リサイクル事業部駐車場	7
◆ 環境保全部倉庫・作業場	7
◆ 熊本南営業所（クリクラ熊本）	7
◆ 対象事業所位置図	8
◆ 対象事業所位置図（熊本南営業所）	9
3. 組織図	10
4. 環境管理責任者氏名及び連絡先	10
5. 事業内容	11
◆ 一般廃棄物収集運搬業務	11
◆ 産業廃棄物収集運搬業務	12
◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務	12
◆ 一般廃棄物中間処理業務	13
◆ 産業廃棄物中間処理業務	13
◆ 産業廃棄物処理施設	14
◆ 産業廃棄物処理実績	14
◆ 処理工程図	15
III. 環境マネジメントシステム運営	21
1. 適用範囲	21
2. 実施体制	22
3. 役割分担表	23
4. 環境目標	24
◆ 中期（3か年）環境目標（平成26年度～平成28年度）	24
5. 環境活動計画	25
6. 環境目標の実績	26
7. 環境活動計画の取組状況とその判定	27

8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	28
9.	取組結果とその評価、次年度の取組内容	28
◆	電力使用量の削減	28
◆	化石燃料使用量の削減	28
◆	水使用量の削減	28
◆	一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量削減	29
◆	受託産業廃棄物（中間処理）のリサイクル率100%推進	29
◆	グリーン購入率の向上	29
◆	化学物質の適正管理	29
◆	社会貢献・清掃活動実施	29
10.	代表者による全体評価と見直しの結果	29

II. 組織概要

1. 事業所概要

事業所名 株式会社オカムラ
代表者 代表取締役 岡村 健志
住所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
TEL 0964-33-0131
設立年月日 昭和61年5月16日
従業員 173名
資本金 1,000万円

事業内容（認証登録対象範囲）

<リサイクル事業部>

一般・産業廃棄物収集運搬業務
一般・産業廃棄物中間処理業務
管洗浄業務
衛生器具レンタル

<総合管理部>

ビル清掃
貯水槽・配水池清掃
給水装置管理
一般建設業

<環境保全部>

工業排水処理施設維持管理
下水道維持管理
農業排水処理施設維持管理
浄化槽管理
し尿汲み取り

<営業部>

飲料水販売業

<指定管理部>

公共施設指定管理業務 ※対象範囲外

売上高 970,232千円（平成28年4月～平成29年3月）

※事業会計年度について

平成28年10月より事業会計年度を、毎年度4月～3月から10月～9月に変更しました。

※事業会計年度とエコアクションの取り組み年度について

エコアクションの取り組みは、4月から3月でまとめます。

売上についても同様に、4月から3月で計上することとします。

2. 社有地（対象事業所）

◆ 本社事務所

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
T E L 0964-33-0131
F A X 0964-33-0985
延べ床面積 497.70㎡
管 理 者 勝木 憲一

◆ 社員駐車場①

住 所 熊本県宇城市松橋町久具財間 1954
面 積 680.00㎡
管 理 者 前田 光也

◆ 本社ビル管理係倉庫・車庫

住 所 熊本県宇城市松橋町久具財間 1953-2
延べ床面積 321.00㎡
管 理 者 前田 光也

◆ リサイクル事務所

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1821-1
T E L 0964-27-8686
F A X 0964-27-8700
延べ床面積 2,097.00㎡
管 理 者 竹口 功

◆ リサイクルセンター

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1822-1
T E L 0964-27-8686
F A X 0964-27-8700
延べ床面積 512.83㎡
管 理 者 橋本 憲史

◆ 社員駐車場②

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1800
面 積 502.00㎡
管 理 者 竹口 功

◆ リサイクル事業部駐車場

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 3088
面 積 898.80㎡
管 理 者 木村 泰久

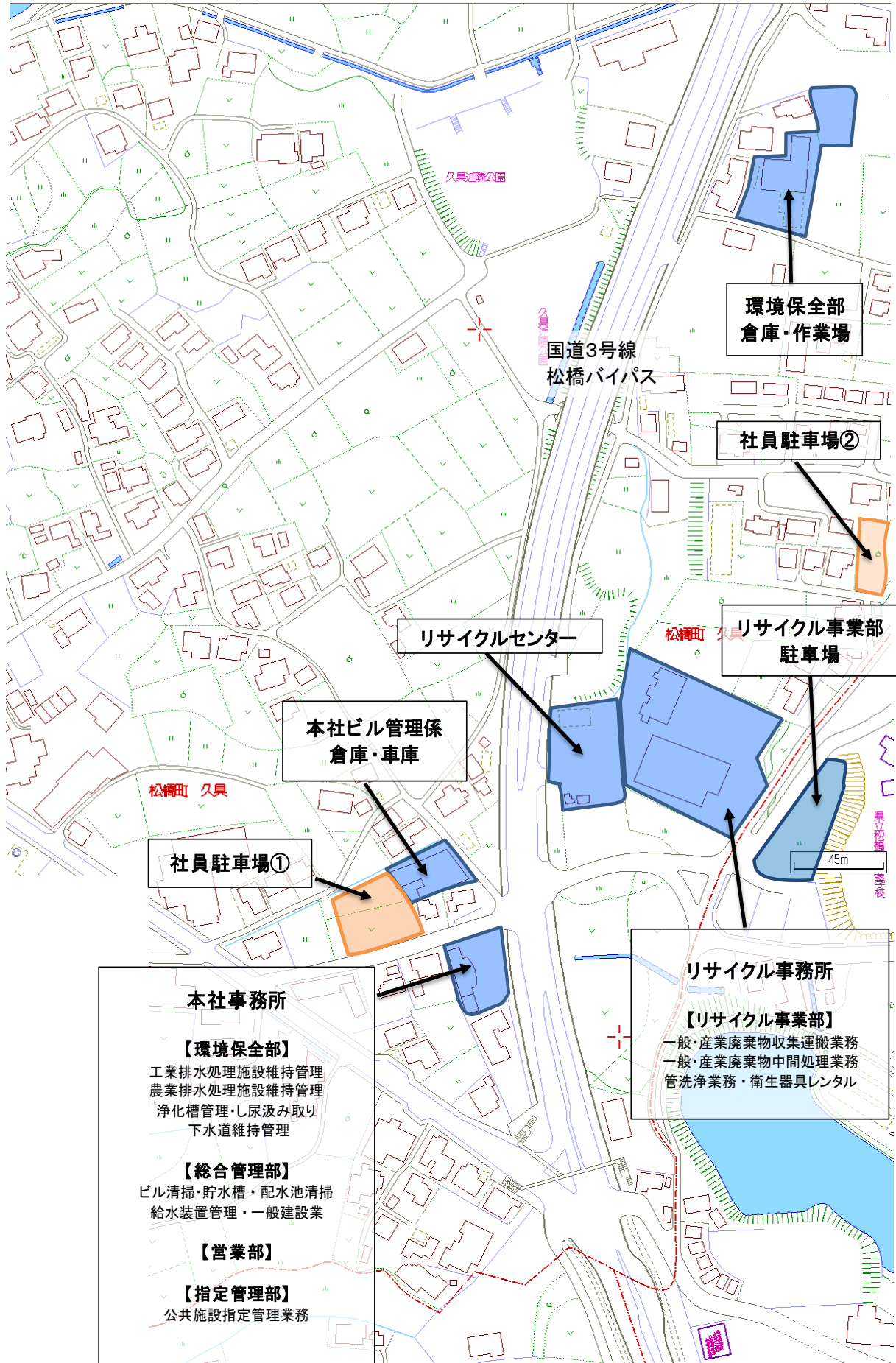
◆ 環境保全部倉庫・作業場

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1707-2
延べ床面積 331.43㎡
管 理 者 吉川 博

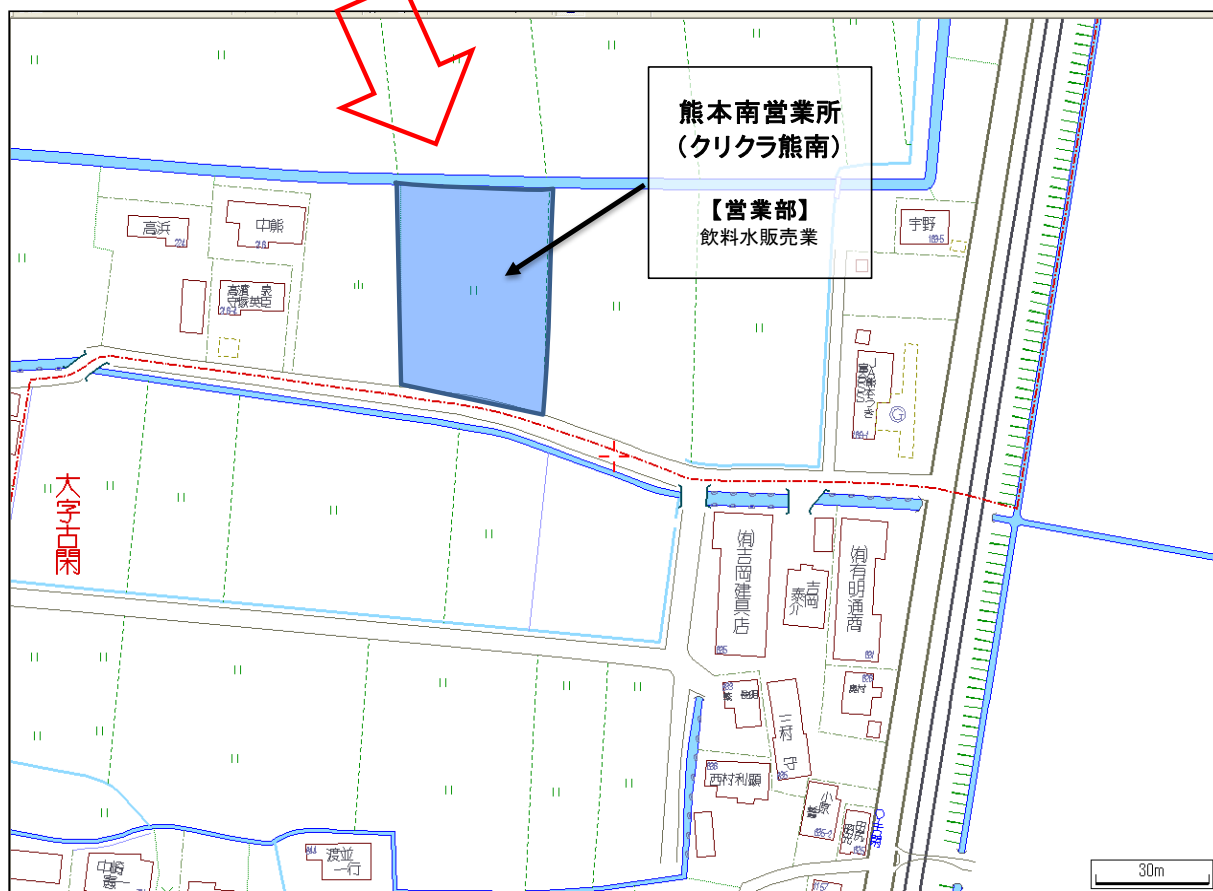
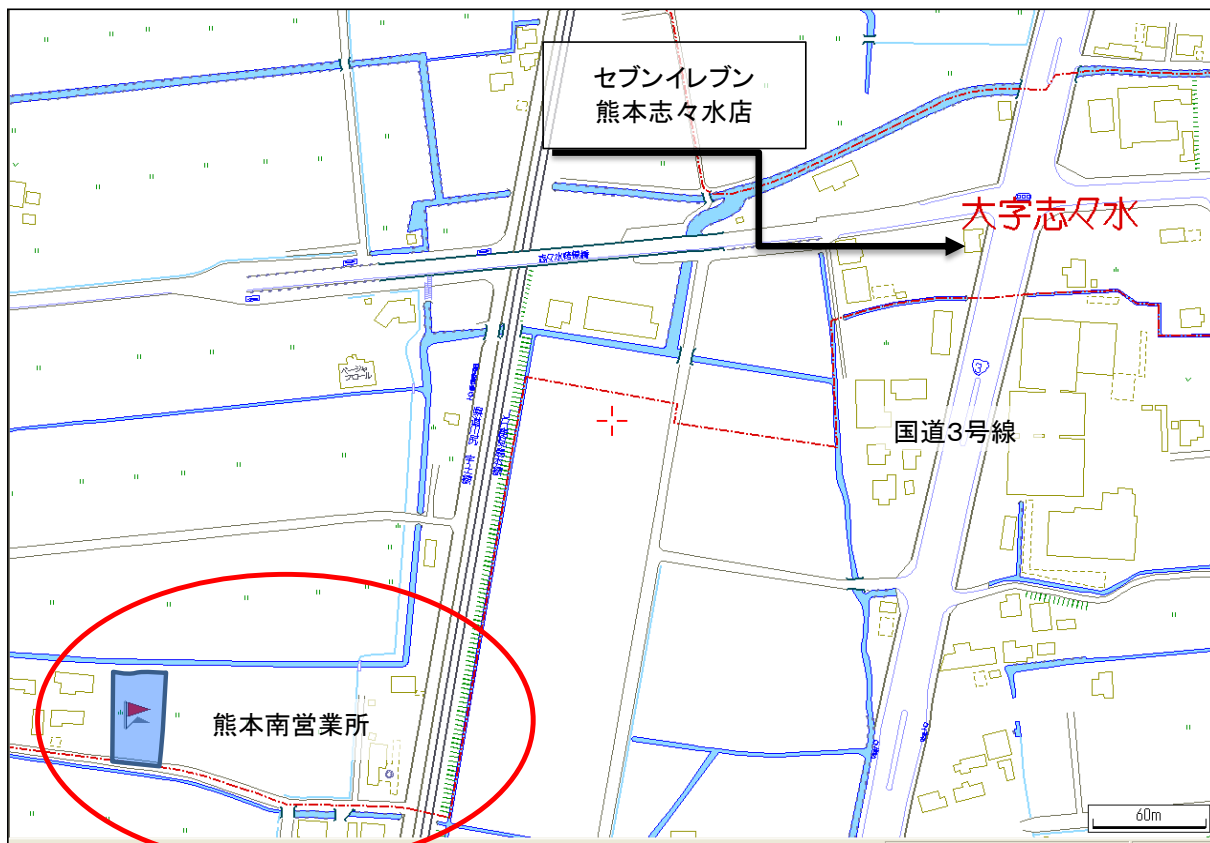
◆ 熊本南営業所（クリクラ熊南）

住 所 熊本県熊本市南区富合町志々水 191
T E L 096-358-4466
F A X 096-358-4467
延べ床面積 105.00㎡
管 理 者 甲斐 勝博

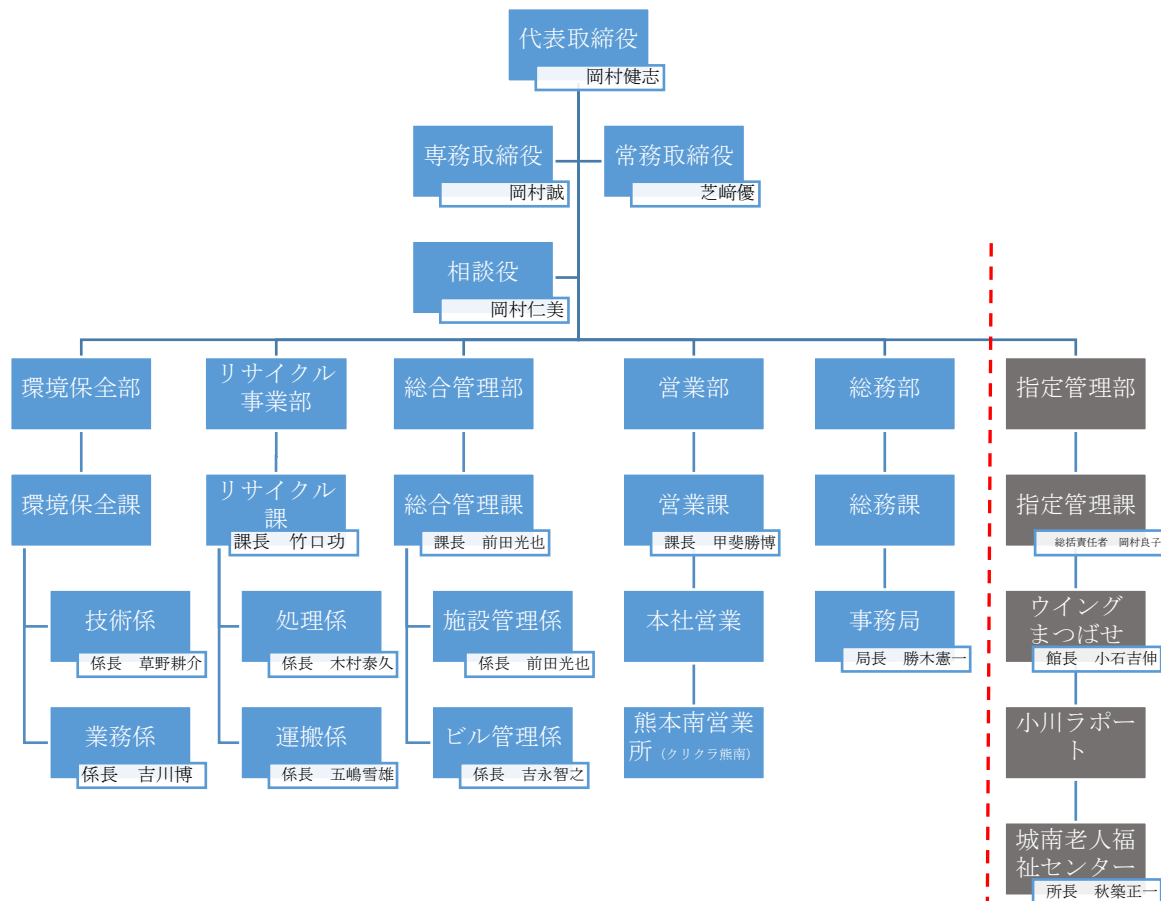
◆ 対象事業所位置図



◆ 対象事業所位置図（熊本南営業所）



3. 組織図



※指定管理業務を行っている『ウイングまつばせ・小川レポート・城南老人福祉センター』は、対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

4. 環境管理責任者氏名及び連絡先

• 環境管理責任者

常務取締役 芝崎 優

TEL : 0964-33-0131

FAX : 0964-33-0985

• 副環境管理責任者

課長 竹口 功

TEL : 0964-33-0131

FAX : 0964-33-0985

5. 事業内容

◆ 一般廃棄物収集運搬業務

許認可等の種類	許認可番号等	登録車両番号	
一般廃棄物収集運搬業	熊本市 第16R-140号	熊本 800 す 9352 熊本 46 と 7767	熊本 800 さ 6366
	宇城市 宇城市環第1165-11号 ※し尿及び浄化槽汚泥を除く 一般廃棄物	熊本 800 す 5470 熊本 800 せ 1009 熊本 800 す 5471 熊本 800 す 7194 熊本 800 す 8386 熊本 100 す 5288 熊本 400 そ 9485 熊本 800 す 9516 熊本 100 せ 4834 熊本 100 せ 9390 熊本 400 と 7958	熊本 800 す 1265 熊本 800 す 4456 熊本 800 す 7013 熊本 800 す 7684 熊本 400 た 2669 熊本 100 さ 9872 熊本 100 は 2747 熊本 800 す 5330 熊本 100 せ 4800 熊本 800 せ 909 熊本 800 せ 348
	宇城市 宇城市環第1168-3号 ※し尿及び浄化槽汚泥	熊本 800 す 5261 熊本 800 す 4176 熊本 800 さ 8466 熊本 800 せ 278	熊本 800 す 1326 熊本 800 さ 6518 熊本 88 す 6341
	宇土市 第1号	熊本 800 す 4456	熊本 800 せ 1009
	氷川町 氷町許可第28-3号	熊本 800 す 4456 熊本 100 せ 9390	熊本 800 す 7013
	美里町 美里衛下第250号	熊本 100 せ 4834 熊本 800 す 5471 熊本 800 す 4456 熊本 100 は 2747 熊本 400 そ 9485 熊本 100 す 5288	熊本 800 す 5470 熊本 800 す 5330 熊本 800 す 7013 熊本 100 さ 9872 熊本 400 た 2669 熊本 100 せ 4800
	八代市 許可(収)第28-40号	熊本 800 せ 909 熊本 100 せ 9390 熊本 800 す 5470	熊本 800 す 4456 熊本 800 す 7013 熊本 800 す 5471

◆ 産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 04300004186 号		
登録車両番号	熊本 800 す 8584 熊本 100 さ 9872 熊本 400 た 2669 熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4800 熊本 800 す 5471	熊本 400 つ 8187 熊本 800 は 1896 熊本 100 す 5288 熊本 800 す 9516 熊本 100 せ 4834	熊本 100 せ 9390 熊本 400 そ 9485 熊本 100 す 7870 熊本 800 す 5330 熊本 100 は 4416
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	紙くず、木くず、繊維くず、がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、ゴムくず、動植物性残さ、廃プラスチック類、廃油、廃酸、廃アルカリ、燃え殻、汚泥（これらのうち石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）		

許認可番号等	福岡県 第 04000004186 号		
登録車両番号	熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4800	熊本 100 せ 4834 熊本 100 は 4416	熊本 100 す 7870
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等（以上 3 品目については、自動車等破砕物を除く。）、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ 以上 8 品目		

◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 04350004186 号		
登録車両番号	熊本 800 す 9516 熊本 100 せ 4834	熊本 800 す 5330	熊本 100 せ 4800
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃酸（水素イオン濃度指数が 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数が 1 2.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、感染性産業廃棄物		

許認可番号等	福岡県 第 04050004186 号		
登録車両番号	熊本 100 せ 4800	熊本 100 せ 4834	
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃酸（水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、感染性産業廃棄物 以上 4 品目		

◆ 一般廃棄物中間処理業務

許認可番号等	宇城市 宇城市環第 1175-2 号
取扱一般廃棄物の種類	し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物
選別	磁力選別機 (5.0t 未満/8hr) 手選別ベルトコンベア
溶融	1 施設 (発泡スチロール 320 kg/8hr)
破砕	2 施設 (5.0t 未満/8hr×2 施設)
圧縮	1 施設 (金属 5.0t 未満/8hr ・ 空き缶 5.0t 未満/8hr)
圧縮梱包	1 施設 (廃プラ 80t/8hr)
減容	1 施設 (ペットボトル 5.0t 未満/8hr)
その他	計量器×1 施設・車両 (フォークリフト) × 2 施設

◆ 産業廃棄物中間処理業務

許認可番号等	熊本県 許可番号 第 04320004186 号		
許可の年月日	平成 29 年 5 月 8 日		
許可の有効期限	平成 34 年 2 月 7 日		
処理方式	取り扱う産業廃棄物の種類	処理能力	
破砕	木くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	木くず	2.3 t/日 (8h)
		廃プラスチック類	3.5 t/日 (8h)
圧縮・梱包	紙くず、繊維くず、金属くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	紙くず	740.8 t/日 (8h)
		繊維くず	106.4 t/日 (8h)
		金属くず	649.6 t/日 (8h)
		廃プラスチック類	769.6 t/日 (8h)
分解・選別①	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、廃石膏ボード、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	1.5 t/日 (8h)	
分解・選別②	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、廃石膏ボード、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	3.6 t/日 (8h)	
減容	廃プラスチック類 (廃発泡スチロールに限り、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	0.32 t/日 (8h)	

廃棄物処理費につきましては、個別見積とさせていただきます。

◆ 産業廃棄物処理施設

処理方法	項目	
破碎	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	木くず 2.3 t / 日 (8h) 廃プラスチック類 3.5 t / 日 (8h)
圧縮・梱包	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	紙くず 740.8 t / 日 (8h) 繊維くず 106.4 t / 日 (8h) 金属くず 649.6 t / 日 (8h) 廃プラスチック類 769.6 t / 日 (8h)
分解・選別 ①	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	1.5 t / 日 (8h)
分解・選別 ②	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	3.6 t / 日 (8h)
減容	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	0.32 t / 日 (8h)

◆ 産業廃棄物処理実績

廃棄物の収集運搬量・処分量

項 目		単 位	平成 27 年度	平成 28 年度
産業 廃棄物	収集運搬量	t	1542.7	1430.6
	中間処理量	t	231.8	348.0
	うち再資源化等量	t	231.8	348.0
	最終処分量	t	0	0
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	0
	うち再資源化等量	t	0	0

◆ 処理工程図

産業廃棄物中間処理（リサイクル事業部）

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
排出事業者 (348.2 t)	木くず (191.0 t)	破碎	木チップ [S1] (191.0 t)	燃料メーカー (191.0 t)
	廃プラスチック類 (107.3 t)		硬質プラチップ (107.3 t)	再生原料メーカー (107.3 t)
	紙くず (0.0 t)	圧縮・梱包	軟質プラプレス (0.0 t)	製紙メーカー (0.0 t)
	繊維くず (4.6 t)		古紙ペール (0.0 t)	2次処理業者 (4.6 t)
	金属くず (25.0 t)		繊維ペール (4.6 t)	鉄鋼メーカー (25.0 t)
	混合物 (0.0 t)	圧縮	金属プレス (25.0 t)	2次処理業者 (0.0 t)
		分解選別①	※品目別に再選別 (0.0 t)	自社行程へ (0.0 t)
		分解選別②		
	陶磁器くず (10.5 t)	選別	再生碎石 (10.5 t)	2次処理業者 (10.5 t)
	ガラスくず (9.7 t)	選別	ガラス原料 (9.7 t)	2次処理業者 (9.7 t)
ゴムくず (0.1 t)	選別	ゴム原料 (0.1 t)	2次処理業者 (0.1 t)	

※数量の誤差は異物・ロスおよび品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。
原料として概ね売却しています。

産業廃棄物収集運搬（リサイクル事業部）

排出者	廃棄物種類	収集運搬量	処理方法	処分先
排出事業者 (1430.6 t)	ガラス・陶磁器 (65.1 t)	(65.1 t)	選別	A社 (10.9 t)
			焼却	B社 (3.2 t)
			メタン発酵	D社 (0.4 t)
			選別	C社 (50.6 t)
	汚泥 (828.4 t)	(828.4 t)	焼却	C社 (144.0 t)
			他用途原材料化	J社 (0.6 t)
			コンポスト化	C社 (0.4 t)
			選別	I社 (682.4 t)
	金属くず (17.3 t)	(17.3 t)	破砕	E社 (1.0 t)
			焼却	A社 (17.0 t)
	廃酸 (1.6 t)	(1.6 t)	焼却	D社 (0.3 t)
	廃アルカリ (2.0 t)	(2.0 t)	焼却	B社 (0.0 t)
			選別	C社 (1.6 t)
	木くず (147.7 t)	(147.7 t)	破砕	C社 (2.0 t)
			破砕	A社 (0.0 t)
			選別	A社 (147.3 t)
ゴムくず (0.1 t)	(0.1 t)	選別	B社 (0.4 t)	
繊維くず (1.8 t)	(1.8 t)	圧縮	G社 (0.0 t)	
		選別	A社 (0.1 t)	
		選別	A社 (1.8 t)	
		選別	A社 (29.1 t)	
		選別	B社 (1.8 t)	
		選別	D社 (0.4 t)	
		焼却	C社 (95.7 t)	
廃プラ (193.4 t)	(193.4 t)	破砕	A社 (43.3 t)	
		破砕	B社 (0.1 t)	
		熔解	D社 (5.6 t)	
		焼却	K社 (0.0 t)	
		堆肥化	F社 (17.3 t)	
動植物性残渣 (30.9 t)	(30.9 t)	焼却	C社 (14.1 t)	
廃油 (0.4 t)	(0.4 t)	焼却	H社 (16.8 t)	
感染性廃棄物 (141.9 t)	(141.9 t)	焼却	C社 (0.4 t)	
		焼却	C社 (141.9 t)	

一般廃棄物中間処理（リサイクル事業部）

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
宇城市 委託処理分 (1015.2 t) + (63千本)	アルミ缶 (22.7 t)	選別	アルミプレス [A1]	鉄鋼メーカー (129.8 t) [A1+A2]
	スチール缶 (20.4 t)		Cプレス [B1]	鉄鋼メーカー (70.3 t) [B1+B2]
	ペットボトル (32.3 t)	選別	ペットプレス [C1]	再生原料メーカー (164.7 t) [C1+C2]
	透明びん (55.2 t)		透明カレット [D1]	再生原料メーカー (116.0 t) [D1+D2]
	茶色びん (65.7 t)		茶カレット [E1]	2次処理業者 (141.4 t) [E1+E2]
	その他の色びん (15.1 t)		その他カレット [F1]	2次処理業者 (16.3 t) [F1+F2]
	新聞・チラシ (198.5 t)	選別	新聞プレス [G1]	製紙メーカー (503.1 t) [G1+G2]
	雑古紙 (141.6 t)		雑誌プレス [H1]	製紙メーカー (809.0 t) [H1+H2]
	段ボール (59.6 t)	選別	段ボールプレス [I1]	再生原料メーカー (896.6 t) [I1+I2]
	生きびん (63千本)		一升びん [J1]	酒造問屋 (28千本) [J1+J2]
	古布 (42.7 t)	選別	ビールびん [K1]	酒造問屋 (82千本) [K1+K2]
	プラスチック類 (50.1 t)		ウエス [L1]	再生原料メーカー (146.2 t) [L1+L2]
	発泡スチロール (6.1 t)	選別	軟質プラプレス [M1]	再生原料メーカー (27.1 t) [M1+M2]
	金属類 (77.3 t)	選別	硬質プラプレス [N1]	再生原料メーカー (85.7 t) [N1+N2]
			選別・溶融	PS(フット) [O1]
	廃食用油 (6.3 t)	選別	鉄 [P1]	鉄鋼メーカー (447.7 t) [P1+P2]
			非鉄 [Q1]	鉄鋼メーカー (46.6 t) [Q1+Q2]
	粗大ごみ (221.6 t)	選別	鉄プレス [R1]	鉄鋼メーカー (40.4 t) [R1+R2]
非鉄プレス [S1]			鉄鋼メーカー (0.0 t) [S1+S2]	
		廃食用油 [T1]	再生原料メーカー (7.2 t) [T1+T2]	
		可燃ごみ	宇城クリーンセンター (36.9 t)	
		処理困難物	※上記各項目へ	

※数量の誤差は異物・ロスおよび品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

一般廃棄物中間処理（リサイクルセンター）

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
一般持込 及び 自社回収 (2634.6 t) + (39千本) ※次頁含	アルミ缶 (110.3 t)	選別	アルミプレス [A2]	鉄鋼メーカー (129.8 t) [A1+A2]
	スチール缶 (42.5 t)		圧縮	鉄鋼メーカー (70.3 t) [B1+B2]
	ペットボトル (88.0 t)			ペットプレス [C2]
	びん類 (75.1 t)	選別	透明カレット [D2]	再生原料メーカー (116.0 t) [D1+D2]
	飲料容器混合 (53.4 t)		茶カレット [E2]	2次処理業者 (141.4 t) [E1+E2]
	新聞紙・チラシ (228.6 t)		その他カレット [F2]	2次処理業者 (16.3 t) [F1+F2]
	雑古紙 (402.3 t)			上の各項目に含む
	段ボール (688.1 t)			製紙メーカー (503.1 t) [G1+G2]
	古紙その他 (123.7 t)	選別	新聞プレス [G2]	製紙メーカー (809.0 t) [H1+H2]
	一升びん (9千本)		雑誌プレス [H2]	再生原料メーカー (896.6 t) [I1+I2]
	ビールびん (30千本)	選別	段ボールプレス [I2]	2次処理業者 (43.9 t)
	古布 (21.1 t)		その他	酒造問屋 28千本 [J1+J2]
	プラスチック類 (140.6 t)		一升びん [J2]	酒造問屋 82千本 [K1+K2]
	発泡スチロール (8.9 t)	選別	ビールびん [K2]	再生原料メーカー (146.2 t) [L1+L2]
	鉄類 (110.8 t)		ウエス [L2]	再生原料メーカー (27.1 t) [M1+M2]
	非鉄類 (19.3 t)	選別	軟質プラプレス [M2]	再生原料メーカー (85.7 t) [N1+N2]
	廃食用油 (0.5 t)		硬質プラプレス [N2]	再生原料メーカー (19.7 t) [O1+O2]
	雑品他 (47.1 t)	選別・溶融	P Sインゴット [O2]	鉄鋼メーカー (447.7 t) [P1+P2]
	不燃ごみ (93.8 t)	選別	鉄 [P2]	鉄鋼メーカー (40.4 t) [R1+R2]
			圧縮	鉄プレス [R2]
	選別	非鉄 [Q2]	鉄鋼メーカー (0.0 t) [S1+S2]	
		圧縮	非鉄プレス [S2]	再生原料メーカー (7.2 t) [T1+T2]
	選別	廃食用油 [T2]	2次処理業者 (119.3 t)	
			その他雑品	2次処理業者 (138.3 t)
			不燃ごみ (ガラス他)	

※次ページへ続く

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
一般持込 及び 自社回収 (2634.6 t) + (39千本) ※前頁含	木くず (121.1 t)	選別 破砕	木くずチップ	再生原料メーカー (157.5 t)
	可燃ごみ (108.0 t)	選別	木くずその他	2次処理業者 (69.4 t)
	その他プラ (4.8 t)		可燃ごみ	宇城クリーンセンター (200.6 t)
	その他金属 (5.1 t)		その他プラ (PP他)	2次処理業者 (78.4 t)
	混合物他 (141.5 t)		その他金属 (モーター他)	鉄鋼メーカー (8.5 t)
			※上記各項目へ	※上記各項目へ

※数量の誤差は異物・ロスおよび品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

一般廃棄物収集運搬量

品目	数量 (t)
飲料容器類	179.9
古紙類	656.2
生きビン類	430本
鉄類	41.4
非鉄類	7.7
木くず類	43.1
可燃ごみ	27.5
プラスチック類	76.8
不燃物類	35.9
その他金属	0.3
混合物他	18.7
家電リサイクル品	628台

※持込を除く自社運搬量

● 許可一覧

許認可等の種類	許認可等番号	有効期限	
建築物飲料水貯水槽清掃業	熊本県 10 貯第 2 号	H28.10.01~H34.09.30	熊本県
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 16 総第 3 号	H28.10.01~H34.09.30	熊本県
建築物ねずみ昆虫等防除	熊本県宇保 21 ね第 1 号	H27.06.30~H33.06.29	熊本県
浄化槽保守点検業	熊本県知事 (28) 第 101 号	H28.10.01~H31.09.30	熊本県
浄化槽清掃業	宇城市環第 1188-2 号	H28.04.01~H30.03.31	宇城市
産業廃棄物収集運搬業	第 04300004186 号	H28.07.12~H35.07.04	熊本県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 04350004186 号	H25.06.30~H30.06.29	熊本県
産業廃棄物収集運搬業	第 04000004186 号	H25.09.13~H30.09.12	福岡県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 04050004186 号	H25.09.03~H30.09.02	福岡県
産業廃棄物処分業 (中間処理)	第 04320004186 号	H29.05.08~H34.02.07	熊本県
一般廃棄物処理業 (中間処理)	宇城市環第 1175-2 号	H28.04.01~H30.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 16R-140 号	H28.04.01~H30.03.31	熊本市
一般廃棄物収集運搬業 ※ ₁	宇城市環第 1165-11 号	H28.04.01~H30.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業 ※ ₂	宇城市環第 1168-3 号	H28.04.01~H30.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 1 号	H29.04.19~H30.05.31	宇土市
一般廃棄物収集運搬業	氷町許可第 28-3 号	H28.07.01~H30.06.30	氷川町
一般廃棄物収集運搬業	美里衛下第 250 号	H29.04.01~H31.03.31	美里町
一般廃棄物収集運搬業	許可 (収) 第 28-40 号	H28.04.01~H30.03.31	八代市
一般建設業	許可 (般 - 28) 第 18081 号	H28.09.12~H33.09.11	熊本県
古物商	第 931170000898 号	H21.03.03	熊本県

※₁ し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物

※₂ し尿及び浄化槽汚泥

● 施設等の状況

(車両の種類と台数)

車両の種類	台数	車両の種類	台数
塵芥車	12 台	清掃車	4 台
バン	17 台	糞尿車	7 台
冷凍冷蔵車	3 台	ダンプ	1 台
脱着装置付コンテナ専用車	6 台	キャブオーバ	13 台
ユンボ	3 台	フォークリフト	3 台
その他	6 台		

計：75 台 (平成 29 年 5 月 31 日現在)

III. 環境マネジメントシステム運営

1. 適用範囲

下記の当社全サイトにおける、全組織、全事業、全従業員を対象範囲とする。

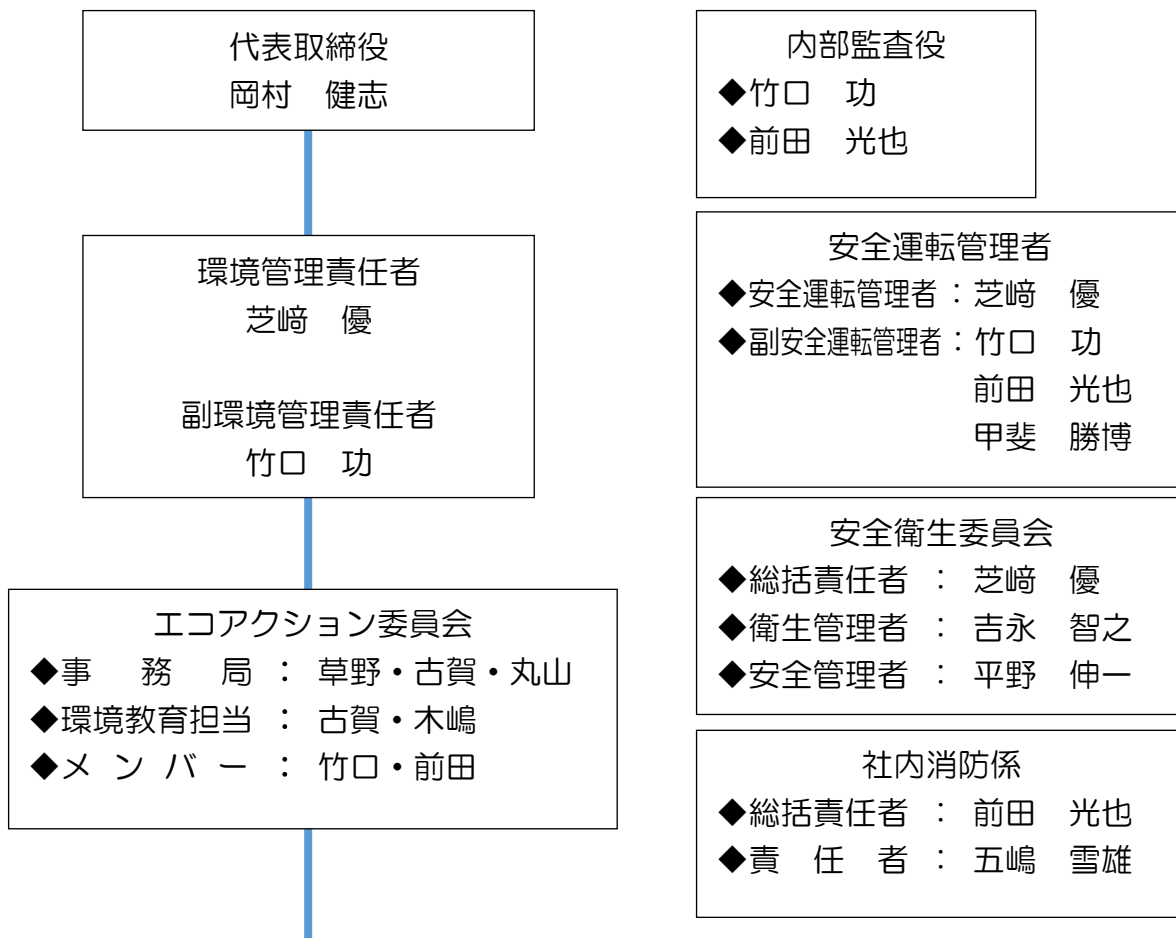
- 本社事務所
：環境保全部、総合管理部、営業部、総務部
- 社員駐車場①
：環境保全部、総合管理部、営業部、総務部
- 本社ビル管理係倉庫・車庫
：総合管理部
- リサイクル事務所
：リサイクル事業部
- リサイクルセンター
：リサイクル事業部
- 社員駐車場②
：リサイクル事業部
- リサイクル事業部駐車場
：リサイクル事業部
- 環境保全部倉庫・作業場
：環境保全部・リサイクル事業部
- 熊本南営業所
：クリクラ熊南

<適用除外>

下記のサイト及び事業部は業務の性質上、第三者の所有施設内での業務となるため、適用除外とする。
ただし、その業務の運営においては環境マネジメントに準じた運営を行うものとする。

- ウイングまつばせ
：指定管理部
- 小川ラポート
：指定管理部
- 熊本市城南老人福祉センター
：指定管理部
- 各常駐清掃受託施設
：総合管理部

2. 実施体制



	電気担当	燃料担当	水道担当	排水担当	廃棄物担当	グリーン 購入担当
リサイクル事業部	村山	山口	山田	松本	三石	—
リサイクルセンター (リサイクル事業部) ※ ₁	橋本	坂田	山田	中村	豊岡	—
環境保全部	石川	津志田	野崎	吉川	結島	—
総合管理部	吉永	辻	田中英	吉永	辻	—
指定管理部 ※ ₂	小石	村上	内田	内田	勝間田	西山
総務部・営業部 (本社事務所)	松本	永本	前田	宗村	勝木	淵上
熊本南営業所 (クリクラ熊南)	那須	紫垣	栄永	栄永	川上	—

※₁ リサイクルセンター…リサイクル事業部ですが作業場が完全別棟のため各担当を分けております。

※₂ 指定管理部…対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

3. 役割分担表

代表取締役	<p>環境経営に関する統括責任</p> <p>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</p> <p>環境管理責任者の任命</p> <p>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</p> <p>環境目標・環境活動計画書を承認</p> <p>代表者による全体の評価と見直しを実施</p> <p>環境活動レポートの承認</p>
環境管理責任者	<p>EA21 委員会の委員長として委員会の運営</p> <p>環境経営システムの構築、実施、管理</p> <p>環境関連法規等の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底</p> <p>環境目標・環境活動計画書の確認</p> <p>環境活動の取組結果を代表者へ報告</p> <p>環境活動レポートの確認</p>
EA21 委員会	<p>環境管理責任者の補佐</p> <p>環境活動目標及び年間計画の検討</p> <p>環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</p> <p>環境関連文書及び記録の作成管理</p> <p>環境活動計画の実施・実績集計及び達成状況の報告</p> <p>従業員に対する教育訓練の実施、記録の作成</p> <p>環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施</p> <p>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</p> <p>環境活動レポートの作成、公開</p> <p>その他に EA21 に関する業務</p>
事務局	<p>関係者（各部門責任者、事務担当者等）を適宜召集し、環境経営システムの運用上必要となる諸事項に対応</p> <p>環境経営システム運用状況の把握、課題整理</p> <p>EA21 委員会での検討内容の計画立案</p>
内部監査役	環境経営システムの適合性及び運用状況の監査
安全衛生委員会	従業員の危険又は健康被害を防止するための対策を講じる
安全運転管理者	車両管理、事故防止、事故後の対応及び安全運転に関する指導、教育
環境教育担当	全従業員に対して環境方針の周知を図るとともに環境教育を計画的に行う
電気担当	担当部署に対し部署に電気の節約を呼びかける
燃料担当	担当部署に対し部署毎に燃料（ガソリン、軽油、灯油）の節約を呼びかける
水道担当	担当部署に対し水の節約を呼びかける
排水担当	担当部署の排水状況を定期的に確認する
廃棄物担当	担当部署に対しごみの分別、削減を呼びかける
グリーン購入担当	再生原料を使用したものを選定しグリーン購入を推進する
全従業員	<p>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</p> <p>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動を推進</p>

4. 環境目標

◆ 中期（3か年）環境目標（平成26年度～平成28年度）

（事業年度：4月～3月）

環境目標項目		単位	平成24年度 （実績・基準）	平成26年度 （目標）	平成27年度 （目標）	平成28年度 （目標）
電力使用量の削減		Kwh	108,991	106,811 （2%削減）	105,721 （3%削減）	104,631 （4%削減）
化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	19,571	19,179 （2%削減）	18,983 （3%削減）	18,788 （4%削減）
	軽油	L	121,473	119,043 （2%削減）	117,828 （3%削減）	116,614 （4%削減）
	灯油	L	869	851 （2%削減）	842 （3%削減）	834 （4%削減）
CO ₂ 排出量削減		Kg-CO ₂ /	423,698	415,224 （2%削減）	410,987 （3%削減）	406,750 （4%削減）
水の使用量の削減 ※洗車は井水利用		m ³	543	532 （2%削減）	526 （3%削減）	512 （4%削減）
一般廃棄物の排出量削減		t	3.68	3.60 （2%削減）	3.56 （3%削減）	3.53 （4%削減）
受託産業廃棄物の リサイクル率100%推進		%	100	100	100	100
グリーン購入率の向上		%	再生原料を使用した商品を選定する	100	100	100
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
社会貢献・清掃活動実施		回	1	2	2	2

※ 電力の排出係数：平成23年（0.525kg-CO₂/kwh）を使用。

5. 環境活動計画

環境活動計画と部署毎の実施項目

環境目標項目	環境活動計画 (具体的活動)	適用範囲							適用除外	
		リサイクル事業部	リサイクルセンター	環境保全部	総合管理部	営業部	熊本南営業所 (クリクラ熊本)	総務部	指定管理部 各常駐先	
電気使用量の削減	出来るだけ消灯する	○	○	○	○	○	○	○	○	
	できる限り残業しない	○	○	○	○	○	○	○	△	
	エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時 28℃、暖房時 20℃に設定する(温度計設置)	○	○	○	○	○	○	○	△	
化石燃料使用量の削減	ガソリン	アイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	—
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○	○	○	○	○	○	○	—
	軽油	アイドリングストップ	○	○	○	○	—	—	—	—
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○	○	○	○	—	—	—	—
	灯油	退社 15 分前に暖房器具を止める	—	○	○	○	—	—	○	△
		ウォームビズの実施	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減 ※洗車は井水利用	水道メーターの定期確認	○	○	—	—	—	—	○	○	
一般廃棄物の排出量削減	分別を徹底しリサイクルに努める	○	○	○	○	○	○	○	○	
受託産業廃棄物のリサイクル率 100%の推進	排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	○	○	—	—	—	—	—	—	
グリーン購入率の向上	コピー用紙	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○	
	トイレットペーパー	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○	
化学物質の適正管理	購入前に化学物質含有量等の確認を行う	—	—	○	○	—	—	—	—	
社会貢献・清掃活動実施	積極的に取り組む	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：実施 △：出来るだけ実施 ▽：間接実施

※指定管理部および各常駐先については適用範囲外ですが、環境に配慮した運営を行っております。

6. 環境目標の実績

平成28年度環境目標の実績

(事業年度：4月～3月)

環境目標項目		単位	平成24年度 (実績・基準)	平成28年度 (目標)	平成28年度 (実績)	平成28年度 (目標達成率)
電力使用量の削減		Kwh	108,991	104,631 (4%削減)	132,119	79%
化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	19,571	18,788 (4%削減)	40,487	46%
	軽油	L	121,473	116,614 (4%削減)	132,130	88%
	灯油	L	869	834 (4%削減)	430	194%
	LPガス	Kg	29	27 (4%削減)	36	75%
CO ₂ 排出量削減		Kg-CO ₂ /	423,698	406,750 (4%削減)	511,292	80%
水の使用量の削減 ※洗車は井水利用		m ³	543	512 (4%削減)	639	80%
一般廃棄物の排出量削減		t	3.68	3.53 (4%削減)	2.9	122%
受託産業廃棄物のリサイクル率100%推進		%	100	100	100	100%
グリーン購入率の向上		%	再生原料を使用した 商品を選定する	100	100	100%
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	—
社会貢献・清掃活動実施		回	1	2	2	100%

※電力の排出係数：平成23年(0.525kg-CO₂/kwh)を使用。

7. 環境活動計画の取組状況とその判定

評価期間：平成28年4月～平成29年3月

判定： ○：できた △：不足 ×できていなかった

環境目標項目	環境活動計画 (具体的活動)	判定								除外 範囲
		リサイクル事 業部	リサイクルセ ンター	環境保全部	総合管理部	営業部	熊本南営業所 (クリクラ熊本)	総務部	指定管理部 各常駐先	
電気使用量の削減	出来るだけ消灯する	△	○	○	○	○	○	△	○	
	できる限り残業しない	△	○	△	×	○	○	○	○	
	エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時28℃、暖房時20℃に設定する(温度計設置)	△	○	△	△	○	○	○	△	
化石燃料使用量の削減	ガソリン	アイドリングストップ	△	○	×	×	○	○	○	—
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○	○	○	△	○	○	○	—
	軽油	アイドリングストップ	△	△	×	×	—	—	—	—
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○	○	○	△	—	—	—	—
	灯油	退社15分前に暖房器具を止める	—	○	△	○	—	—	○	○
		ウォームビズの実施	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減 ※洗車は井水利用	水道メーターの定期確認	○	○	—	—	—	—	○	○	
一般廃棄物の排出量削減	分別を徹底しリサイクルに努める	○	○	△	○	○	○	○	○	
受託産業廃棄物のリサイクル率100%の推進	排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	○	○	—	—	—	—	—	—	
入率の向上 グリーン購入	コピー用紙	—	—	—	—	—	—	○	○	
	トイレトーパーパー	—	—	—	—	—	—	○	○	
化学物質の適正管理	購入前に化学物質含有量等の確認を行う	—	—	○	○	—	—	—	—	
社会貢献・清掃活動実施	積極的に取り組む	○	○	○	△	○	○	○	○	

※除外範囲の指定管理部および各常駐先についても同様に評価を行っております。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規に関して遵守状況を確認した結果、違反等はなかった。

また、関係行政機関等からの指摘・指導、利害関係者からの訴訟等もなかった。

9. 取組結果とその評価、次年度の取組内容

◆ 電力使用量の削減

毎年1%の削減を目標に全部署で取り組みを行ってきたが、熊本地震の影響で業務量が増加し削減に対する取り組みができなかった。また、電力削減を目的とした《ノー残業デー》も平成28年度は徹底できなかった。ノー残業デーへの取り組みの重要性を訴えるとともに、不要な照明の消灯など社員全員で協力し削減に取り組む。また、1月より電力供給会社を変更し、計量日誌による管理が出来るようになった為これからの電力削減に役立てたい。次年度は、蛍光灯のLED照明への移行を計画している。

◆ 化石燃料使用量の削減

● ガソリン使用量の削減

全部署において熊本地震により業務量が大幅に増加したが、社員の取り組みに対する意識が向上したため前年度と比較すると削減できている。また、エコサムによるエコドライブ診断を実施したことにより更なる意識向上につながった。次年度は社員の更なる意識向上を目指し、ガソリン使用状況等を分析し削減に向けて取り組みを徹底していく。

● 軽油使用量の削減

前年度と比較すると微増となり目標達成はできなかったが、新型車両の導入など削減を目的とした取り組みは行っている。ガソリン同様、エコサムによるエコドライブ診断を実施したことにより社員の意識向上につながった。次年度もエコドライブの呼びかけなどを継続していく。

● 灯油使用量の削減

施設管理部が熊本地震により事務所を移動しストーブを使用しなくなり結果的に使用量削減になった。次年度も社員全員が意識し削減を行っていく。

◆ 水使用量の削減

前年度と比較すると使用量は減少している。節水を目的とした取り組みとして、リサイクル事業部では節水機能付き浄水器取り付け、本社では洗濯機を買い替えた。節水に意識を向け続けていけるよう引き続き呼びかけを行っていく。また、意識向上につながる取り組みを考え推進していく。

◆ 一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量削減

廃棄物排出量は毎年削減できている。全体朝礼や全体会議の場で廃棄物分別の勉強会や排出量削減の呼びかけを行ったことにより、社員全員の意識統一ができてきた。今後の取り組みとして、ペットボトル・軟質プラスチックの細分別化を実施。その他の廃棄物についても少しずつ減量に向けた取り組みを行う。

◆ 受託産業廃棄物（中間処理）のリサイクル率100%推進

受託量は年々増加傾向にあったが、平成28年度は熊本地震もあり大幅に増加となった。受託産廃のリサイクル率100%は遂行できている。自社で処理の許可がない品目について、設備の拡充や品目追加も長期的に検討していく。

○優良産廃〔収集運搬業〕適合認定 H28.7.12

◆ グリーン購入率の向上

コピー用紙・トイレットペーパーについては再生原料を使用した製品の購入率100%を維持できている。その他の品目の追加に関しては情報の収集・検討段階である。今後は、リサイクル業者として廃棄物を再生原料として販売する設備の導入も検討し、自社で安価な商品を販売する事を目標にしていく。

◆ 化学物質の適正管理

全部署において化学物質を含む品目については、すべてMSDSを取り寄せて常時閲覧できる状態にして、適正な使用や保管管理に努めている。また、新たな品目を検討する際には事前にMSDSを確認して、取り扱いの有無を審議する機会を設けるようにしている。

◆ 社会貢献・清掃活動実施

熊本地震関連に伴う業務を優先して行うことによって、地域住民の要望や依頼にできるだけ対応し貢献することができた。また、地域で実施される清掃活動に積極的に参加することができた。次年度は、社内でも清掃活動を計画し実施していく。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成28年度は熊本地震の影響で業務量の増加や施設の使用停止など予期せぬ事が多くあった。そんな中でもエコアクション活動に取り組み、相当の結果が残せたことに感謝したい。

会社としても旧車両の入れ替えや機器の更新を進めている。今後も業務の効率UPと協力体制の強化を行い、全社一丸となり目標達成を目指します。